

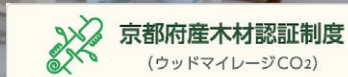
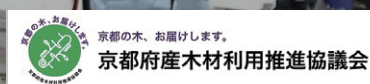
くぐのち

京都の木でつなぐ もり、まち、ひと

京都府産木材利用推進協議会情報誌

創刊第2号
2025
5/1

「くぐのち」(久々能智神)
日本神話に登場する森と木の神様



府内産材流通・加工・建築物見学会（大断面集成材製造工場）

京都府産木材利用推進協議会 令和7年度総会のご案内

本年度の総会について、下記により開催しますのでお知らせします。
皆様、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

— 記 —

- 日 時： 令和7年6月24日（火）15:00 から（予定）
- 場 所： 京都ガーデンパレス（京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605）
- 内容（予定）： 令和6年度事業実績・決算、令和7年度事業計画・予算、役員選任 等
※ 総会終了後、懇親会を予定しています。（17:30 頃から）



発刊によせることば (その2)

「京都府産木材認証制度運営協議会」の今昔とこれから



京都府森林組合連合会会長
青合 幹夫様

「京都府産木材認証制度運営協議会」は、京都府が全国に先駆けてウッドマイレージ認証制度を導入し、この制度の円滑な運営と府内産木材の需要拡大を狙いとして2007年にスタートした。

そして、2015年、この協議会を発展的に解消し「京都府産木材利用推進協議会」とし、2017年には緑の工務店を迎えて現在の姿となり、400事業体を超える大所帯の全国にまれに見る組織となった。

2010年頃には品質基準、ストック、ウェブの検討会が頻繁に開催され、ウェブによる情報共有はバージョンアップして現在に至っており、品質基準は「京都規格」して大活躍を続けている。

ストック検討は紆余曲折をたどり消滅したが、今、姿を変えて蘇ろうとしている。

ただ、認証制度への偏重もあり、需要が大きく伸びなかったことから、2015年に、「府内産木材利用推進協議会」と名称変更

し、利用拡大につなげる活動を進めている。

しかし、ここまでの活動だけでは府内産木材の大幅な活用は難しく、本格的なサプライチェーンを構築するためには、具体的な事案を核に、とりわけ、川上側の実情なども踏まえた情報の共有、まさに、川上から川下までが運命共同体であるという認識の元で進められることが必要であろう。

そういう意味では、最近研究を始めた災害対応の応急仮設住宅建設（柱材だけで構造を組立てる）とその材料をローリングストックする構想を具体化する取り組みに大きな期待が寄せられる。

最後に、今般の会誌発刊を機に会員相互の情報共有がさらに進み、大小のサプライチェーンの輪があちこちに出来、府内産木材の利用が大きく伸びることを願って止まない。

新たな環境指標づくりにむけて、協議会への期待



三重大学 生物資源学研究科准教授
渕上 佑樹様

京都府による京都府産木材認証制度がスタートしたのが2005年2月で、その時から変わらないこの制度の主張が「地球温暖化防止のために森林整備と木材輸送からのCO₂排出量を削減する」です。地域材利用の第一義に地球温暖化防止を掲げた木材の産地認証制度は当時非常に画期的でした。この取り組みが今日まで発展し続けてこられたのは、時代の後押しもありますが、木材の生産、流通、利用に関わる多様な事業者が参画する本協議会が、制度と並走しながら京都府産木材の利用に真剣に取り組んできたからだと思います。

現在、建築材料等の「原材料調達から製品製造まで」の全ての過程で発生するCO₂などの温室効果ガス排出量を見える化することが求められています。即ち、輸送過程からのCO₂排出量(ウッドマイレー

ジCO₂)だけではなく、立木の伐採時や加工・製材時、あるいは使用している接着剤の製造時に排出されるCO₂までも、計算して表示することが必要となってきています。カーボンフットプリント、エンボディドカーボンなどと呼ばれるものです。この数値を計算することは一事業者にとっては面倒で難しいことですが、本協議会が主体となってデータを収集し、「京都府産木材の平均的なカーボンフットプリント」を計算することはできないのでしょうか。全国の各都道府県に木材の産地認証制度がある中で、実現できる可能性が最も高いのは京都ではないかと思い、期待しています。

1 年次総会

- 日時：令和6年6月21日（金） ホテルオークラ京都
- 議案：令和5年度事業実績・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算 等

※総会后、有限会社内野設計代表の内野輝明氏から「山と相談する木造建築」と題し講演会を実施しました。



2 第6回京都の木の家づくり表彰事業

- 京都府産木材（認証・証明材）を利用した建物の普及促進を図るため、公募により募集しました。
- 13点の応募があり、最優秀賞（知事賞）1点、優秀賞2点、審査委員特別賞1点、奨励賞9点を選定し、表彰しました。
- 入賞作品について作品集を作成し、ホームページに掲載するなど京都府産木材の利用について普及啓発を図りました。



3 府内産材流通・加工・建築物見学会

- 京都府で製造加工が可能となった大断面集成材に係る工場の見学会を開催しました。
- 日時：令和7年2月20日（木）
- 場所：（株）七谷川木材工業社【大断面集成材工場】
（株）日新製材所和知工場【ラミナ製造】
辻井木材（株）舞鶴工場【プレカット加工】



4 認証制度等に関する説明会

- 京都府産木材認証制度及び京都府の支援施策の普及啓発を図るため、府南部と北部において説明会を開催しました。
- 説明会資料及び動画は木連ホームページにアップしました。

5 府内産材利用推進セミナー

- 木材のローリングストックの取り組みについて講演会を開催しました。（下記参照）
※本セミナーは協議会活動のPRや会員の拡大を目的に、会員外にも広く募集を行いました。

森がまちを守る！まちが森を守る！

～木材のローリングストックで災害に強い日本に～

府内産材利用推進セミナーを開催しました。

令和6年11月19日、京都市において府内産木材利用推進セミナーを開催しました。

多発する災害や南海トラフ地震などに備え、仮設住宅等の早期確保は重要な課題です。木造の仮設住宅は被災者にとって心理面や健康面でメリットがありますが、一方で緊急に大量の木材の供給が困難といった課題があります。

そこで一つの解決策として、災害時に備え流通材を常に備蓄・回転することで林業振興にも寄与する「木材のローリングストック」について、徳島県の内野設計の内野輝明様から徳島県での実践例や課題等について御講演をいただき、その後、協議会アドバイザーの京都府立大学大学院の古田教授のコーディネートにより、会場とのQAセッションを行いました。

会場からは、経費や備蓄材の種類、ローリングの方法など様々な意見が出ましたが、「まず少量でもそれぞれが出来ることから始めて行く。その集合体がローリングストック。排除せずみんなで行けたら良いのでは。」と結びました。



講演 内野輝明氏



QAセッション





Topics / Info ひろがる京の木整備事業の支援制度が変わります！

～ 住宅タイプの補助金が「材積単価方式」に変更～ 6 / 1 以降の事業申込分から適用

■ ひろがる京の木整備事業（住宅タイプ・非住宅タイプ） ※表内赤字：変更箇所

	住宅タイプ	非住宅タイプ
事業主体	緑の工務店及び特定事業者	施主
補助対象経費	住宅などにおいて、京都府産木材の 使用材積	商業施設や福祉施設など、住宅以外の民間施設において、京都府産木材の購入費
補助率	京都の木証明が発行された木材 新築：15,000 円／㎡、増改築等：20,000 円／㎡	京都の木証明が発行された木材 20% 以内（上限額 30 万円／㎡）
	ウッドマイレージ CO ₂ 京都の木認証 新築：19,000 円／㎡、増改築等：25,000 円／㎡	ウッドマイレージ CO ₂ 京都の木認証 30% 以内（上限額 45 万円／㎡）
	北山丸太製品・京銘竹製品 50% 以内（上限額 4 万円）	—
加算措置	・ 横架材（梁、桁、母屋、棟木及び隅木） 対象部材の補助単価に 21,000 円／㎡を加算	・ 直交集成板（CLT）耐火集成材、大断面集成材を使用した場合 上表の補助率に 20% 加算
	・ SC グループにより調達された木材 補助単価に 7,000 円／㎡を加算	・ SC グループにより調達された木材 上表の補助率に 5% 加算
	・ 初めて本事業の補助金の交付を受ける事業者 補助単価に 7,000 円／㎡を加算	
事業の詳細、様式（京都府 HP）		



編集後記

遅くなりましたが「くぐのち第2号」をお届けいたします。

今回は創刊第2号として、創刊号に引き続き協議会創設時から多大な御協力を賜りました方々からのお言葉をご紹介させていただきました。御寄稿いただいた皆様の協議会に対する思いや期待の大きさを改めて感じ、事務局としても身が引き締まる思いです。

また、本号では昨年の協議会の活動内容とともに、令和7年度に改正された京都府の支援制度についてもご紹介させていただきましたので、ご参考にできれば幸いです。

最後に、創刊号でもお願いしましたが、本誌は会員の皆様の情報共有や交流の場として、また協議会の案内誌です。今後、皆様の業務概要や府内産材に対する思いを掲載したく、順次投稿をお願いする予定ですので、是非とも御協力をお願いします。

それでは総会で皆様方とお会いできることを楽しみにしています。

くぐのち 創刊第2号

京都府産木材利用推進協議会情報誌

編集・発行 京都府産木材利用推進協議会（広報委員会）

<事務局> 一般社団法人京都府木材組合連合会 京都市中京区西ノ京内畑町 41-3

TEL 075-802-2991 FAX 075-811-2593 E-mail info@kyomokuren.or.jp

2025 年 5 月 1 日発行

デザイン 松田デザインラボ

